

学校だより

四日市市立八郷小学校発
平成23年6月6日発行

《 4 号 》

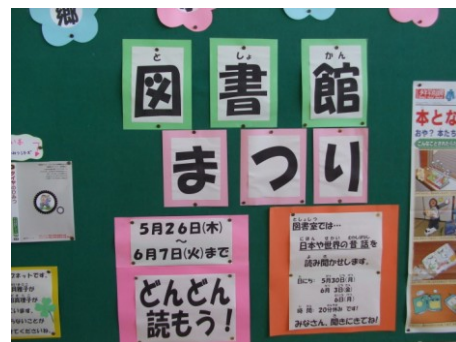
【春の図書館まつり】

5月26日（木）～6月7日（火）は、「春の図書館まつり」を開催しています。

子どもたちは、学年に応じた「ブックラリー」のカードをもとに、読書に取り組んでいます。

例えば、5年生では次のようなカードになっています。

- ①好きな本を読もう
- ②写真や絵が「いいなあ」と思う本を探そう
- ③4・5・6の棚の本を読もう
- ④外国のお話を読もう
- ⑤おすすめの本は
- ⑥一言コメント



《しおりのプレゼント》



《図書館司書・ボランティアの読み聞かせ》

この図書館まつりを盛り上げるために、図書館司書、ボランティアの皆さんの読み聞かせや菓子の提供など、様々な取り組みも平行して行われています。

読書活動の推進については、今年も四日市市教育委員会の推進校になっています。今年の重点として2つのことを考えています。

- ① 家庭での読書の機会を増やしたい
→ ・家庭学習の中にしっかりと位置づける（昨年度、全校平均75冊を超える読書量）
- ② 読書に関するスピーチの場を設けたい
→ ・朝の学習の場、国語の学習の場で

読書に親しむことが図書館まつりの期間だけで終わらないように、家庭でも子どもたちにはげましの声かけをお願いします。

《閑話休題》 ～遊ぶ心～

左の写真は、お茶・お花クラブの指導者の方に生けていただいたお花です。このような生け方を「遊ぶ心」というのだそうです。

季節の花を使った遊びの心、小さな器に、季節の花や草木をあしらひ。色紙が葉っぱを切り取り、どんぐりとどんぐりのはかまで幼虫を作り、花に登ろうとしている様子を表現しています。とても楽しい作品ですね。

この作品は、職員玄関に飾っています。

裏面に続きます



【先生たちの研修会】

《救命法講習》

6月は、水泳の授業が始まります。そのため、例年この時期に、養護教諭が中心となって、全教員が救命法の研修を実施しています。

まずは、プール指導で子どもたちに守らせる

約束の確認、バディー（2人組）で確認させるべきこと、準備・整理運動と子どもたちの体調管理などによる、救命法の手段をとらなくてすむ指導を職員会議で確認しました。

その上で、非常時の対応として研修会です。

- ・素早い教員の連携と救急車の出動要請の手順
- ・事故発生時の該当児童への意識確認・心臓マッサージ・AEDなどによる、救命法の実施とその他児童の安全確保

このような、研修は使わなくてもよい状態が当然ですが、もしもの場合を考えた研修として毎年実施をしています。

今年の夏休みプール開放で当番になっていただく保護者の皆さんにも、これから講習を受けていただきますが、学校としても、プールでの安全については子どもたちに十分指導をしていきたいと考えています。また、プールでの事故は生命の危機に直結しますので、子どもたちの危険な行為を見かけられましたら厳しく注意をお願いいたします。

《授業研修》 ～めざす子どもの姿『かしこい子』をめざして～



＜6年社会科の授業風景＞



＜放課後の討議の風景＞

「一人一人の考えを生かす授業の中で、友達の考えに気づき・よさを発見し、子どもたちは考えを深め・広げ、知識の量だけでない学習を自己のものとする。」という八郷小の研究テーマにそって、今年度第1回の授業研究を行いました。

子どもたちにとってよりよい授業を行うためには、過去の実績だけでは対応できません。特に今年度は、新しい指導要領が完全実施となり、授業時間や教える内容が増加しています。全ての教員が、日々の授業の改善を図ることは当たり前ですが、「学習指導案（指導する教科・単元・時間の目標、子どもたちの状況を考慮した指導法を書いたもの）」を準備し、授業を行い、放課後は、よりよい授業を行うために全教員でその授業について厳しく討議を行う中で、教師としての指導力の向上をめざします。2学期末をめどに、全教員がこのような授業を実施していきます。

授業研究や八郷小の教員研修がより効果的に実施されるよう、四日市市教育委員会から、2名の助言をしていただく指導主事を要請しています。教科の研究については、指導課 世古 豊 先生、人権・同和教育の研究については、三輪 真裕美 先生です。また、必要に応じて、他の専門の先生も要請していく予定です。

「かしこい子」の育成をめざし、弛まぬ研究に取り組んでいきたいと思っております。